

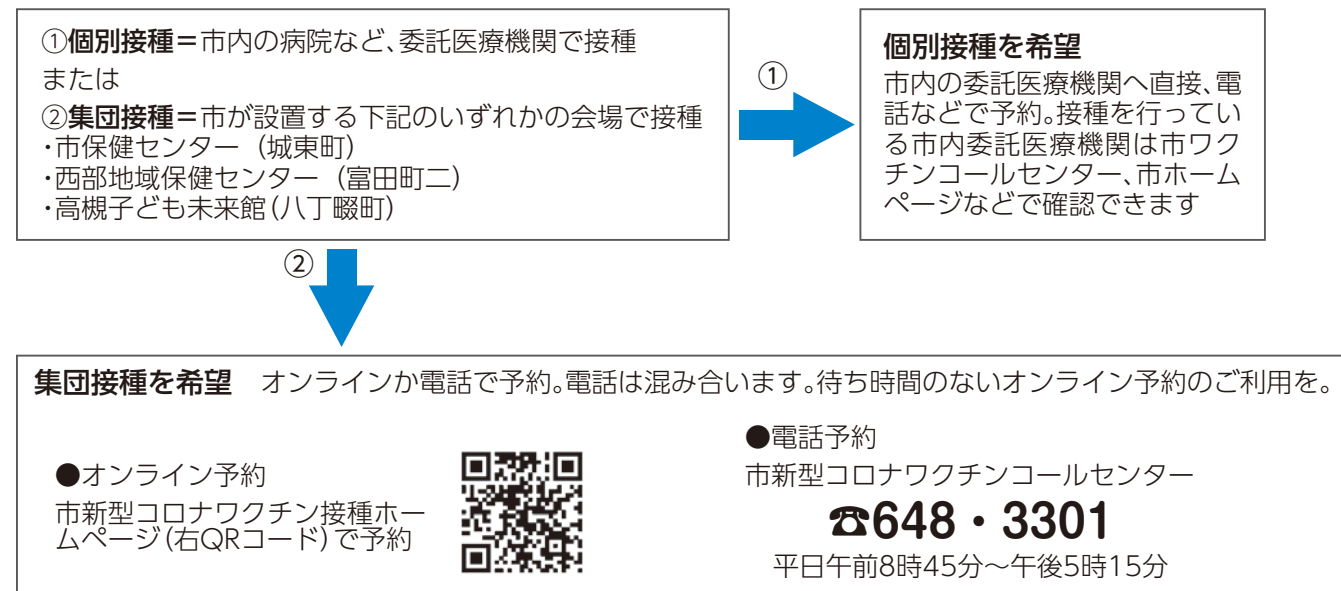
新型コロナ
65歳以上のワクチン接種
介護保険施設入所者から開始

3月17日現在

2 接種の予約(予約開始時期は別途お知らせ)

①個別接種②集団接種のいずれかで接種してください。①②で予約方法が違います。かかりつけ医で接種をしたい人は①の個別接種を選択してください。予約開始日はワクチン供給量が不明のため未定です。予約開始日は今後本誌、市ホームページなどで別途お知らせします。

予約の流れ



3 接種券と本人確認書類などを持って会場へ(5月以降)



接種券と本人確認書類、予診票^(※)を持ち、予約した日時に直接、接種会場へ。
 ※予診票は接種券と一緒に同封されていますので、事前に記入してください

会場では検温をし、医師による予診を受けた上で接種します。
 予診を受けた結果、ワクチン接種ができない場合があります。詳細は本誌23ページへ。

4 経過観察(接種後15～30分)

接種後、待合室で15～30分の間待機して経過観察を行い、最後に接種済証を受け取って終了です。

5 2回目の接種(1回目の接種以降)

1回目の接種後、通常3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。

← 新型コロナワクチン接種の注意事項などは次のページに掲載

問合せ先
市新型コロナワクチンコールセンター
☎648・3301
 平日午前8時45分～午後5時15分
 FAX648・3350(24時間受け付け)
新型コロナワクチン施策の在り方などに関する問合せ
 厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
☎0120・761・770

市は、順次新型コロナワクチン接種の準備を進めています。国からのワクチン供給量が当初の予定より少ないため、4月に開始予定の高齢者(65歳以上)の接種は、クラスター発生の恐れがある介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)の入所者(ア)から実施します。
 (ア)以外の高齢者(イ)の接種は、5月以降に開始する予定で、接種の流れは下記のとおりです。
 詳細は今後本誌、市ホームページなどでお知らせします。

接種のスケジュール(3月17日現在) ※ワクチンの供給量により変更の場合あり

	4月	5月
65歳以上	4月上旬 接種券送付	5月以降 接種スタート
①:介護保険施設の入所者	4月上旬 接種券送付	入所者は予約不要で、入所先から手続きの案内があります
②:上記①以外の65歳以上	4月上旬 接種券送付	5月以降 接種スタート
③:上記①②以外の人	接種スケジュールについては、現在未定です。今後本誌、市ホームページでお知らせします	

接種の流れ

以下の手続きの流れは②の人を対象にしています。③の人についてもスケジュールは未定ですが、同様の手続きの流れを予定しています。

1 接種券が届く(4月上旬に送付)



2回分の接種券を対象者に送付します。
 健康状態に不安のある人は、接種しても問題ないか事前に医療機関で相談してください。また、持病がある人は、主治医に相談してください。



接種券が届いていない人は、市ワクチンコールセンターへお問い合わせください

重い急性疾患にかかっている人など ワクチン接種は受けられません

下記に当てはまる人は、本ワクチンの接種ができな
いまたは、接種に注意が必要です。

自分が当てはまるかどうかや、ワクチンを受けて良
いか分からない人は、その病気を診てもらっている主
治医や近隣の医療機関にご相談ください。

非接種者への差別はやめて
ワクチンの接種は任意であり、受けたくても受け
られない人もいます。接種を受けていない人に差別
的な扱いをすることがないようにお願いします。

受けることができない人

- 明らかに発熱している(※1)
- 重い急性疾患にかかっている
- ワクチン成分に対し、アナフィラキシー
など過敏症(※2)の既往歴がある
など

※1 37.5度以上。ただし、37.5度を下回っていても、
平時の体温に比べて発熱と判断される場合は受
けられません

※2 アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘
鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下など、アナフィラキ
シーを疑わせる複数の症状

- ### 注意が必要な人
- 抗凝固療法を受けている人、血小板減
少症または凝固障害(血友病)のある人
 - 過去に免疫不全の診断を受けた、近親
者に先天性免疫不全症の人がいる
 - 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障
がいなどの基礎疾患がある
 - 過去に予防接種を受けて、接種2日以
内に発熱や全身性の発疹などのアレル
ギーが疑われる症状がでた
 - 過去にけいれんを起こしたことがある
 - ワクチン成分に対してアレルギーが起
こる恐れがある

ワクチン Q&A

Q 持病があり、薬を飲んでいる人は、接種を受けることができますか

A 薬を飲んでいるために接種を受けられないということはありませんが、基礎疾患のある人では、免疫不全のある人、病状が重い人などは、接種を控えることを検討した方がよい場合があります。かかりつけ医にご相談ください。

Q 新型コロナウイルスに感染したことがある人は、接種を受けることができますか

A 受けることができます。ただし、受けた治療内容によっては、治療後から接種まで一定の期間をおく必要がある場合がありますので、いつから接種できるかは主治医にご確認ください。

Q 妊娠中や授乳中の人は、接種を受けることができますか

A 受けることができます。ただし、妊婦または妊娠している可能性のある女性には、安全性に関するデータが限られていることから、接種のメリットとデメリットをよく検討して接種するか判断してください。接種を受けるかについては、主治医にご相談ください。



ワクチン接種に便乗した特殊詐欺に注意

市職員をかたり、ワクチンを優先的に接種できるなどとして、現金の振り込みを求める事例が全国で確認されています。

市役所が新型コロナワクチン接種に関して、現金を要求することはありません。少しでもあやしいと感じたらすぐに電話を切りましょう。

不審に思ったり、トラブルに遭ったりした場合は、消費生活センター(☎682・0999)または、高槻警察署(☎672・1234)にご相談ください。

住民票所在地以外での接種 事情によりできる場合があります

まずは接種券を入手

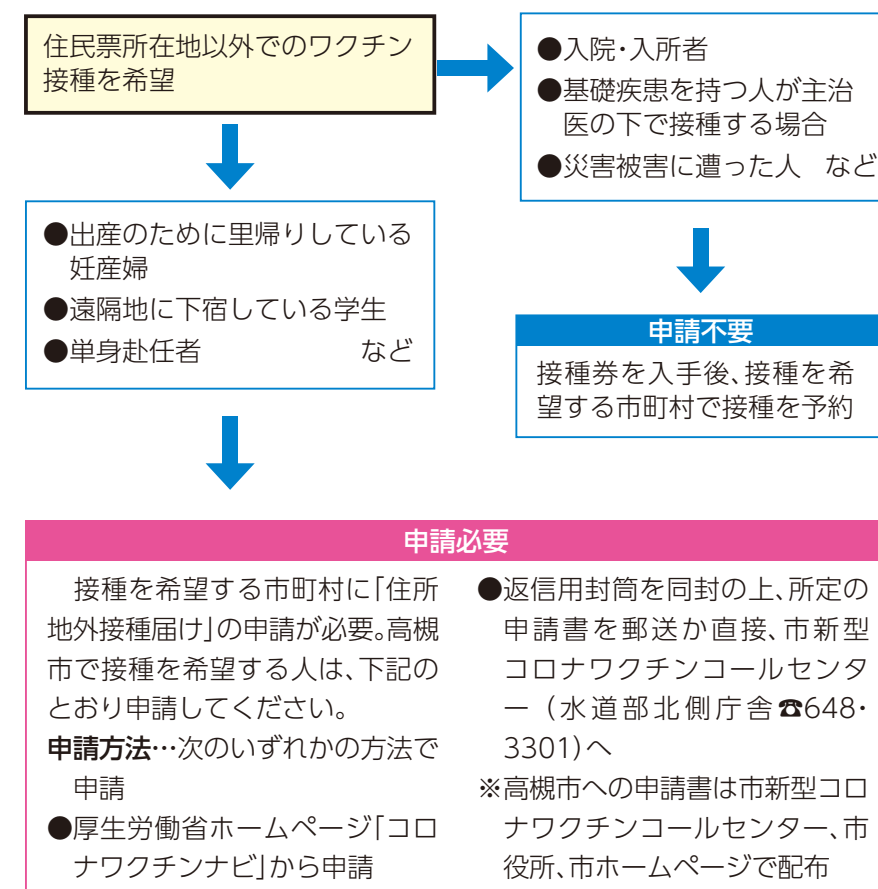
新型コロナワクチンの接種は、住民票の所在地で受けることを原則としていますが、長期入院など、やむを得ない事情による場合、例外的に住民票所在地以外で接種を受けることができます。

接種を受けるには接種券が必要です。接種券は住民票所在地に送付されます。まずは接種券を入手してください。

接種には申請が必要な場合あり

住民票所在地以外での接種には、接種を希望する市町村に「住所地外接種届け」の申請が必要な場合と必要でない場合があります。申請は右図のとおり、接種の予約前に行うようにしてください。

なお、住民票が高槻市にあり、他市町村で接種したい場合の申請方法などは、接種を希望する市町村へお問い合わせください。



接種は任意 効果と副反応を理解した上で判断を

新型コロナワクチンの接種は、国民の皆さんに受けてもらうようお勧めしていますが、強制ではありません。

接種を受ける人は、接種による感染症予防の効果と副反応のリスクについて理解した上で、自らの意思で受けるかを決めてください。

たりした場合、医療費・障害年金などの給付が受けられます。

ワクチン接種後に副反応を疑う症状が発生した場合は下記にお問い合わせください。

副反応が起きた場合の救済制度あり

一般的にワクチン接種では、副反応による健康被害が極めて稀であるものの、なくすことはできないことから、予防接種法に基づく救済制度が設けられています。同制度では、副反応が出たことで医療機関での治療が必要になったり、障がいが残ってしまっ

副反応など医学的知見が必要となる専門的な相談

府コールセンター
☎0570・012・336